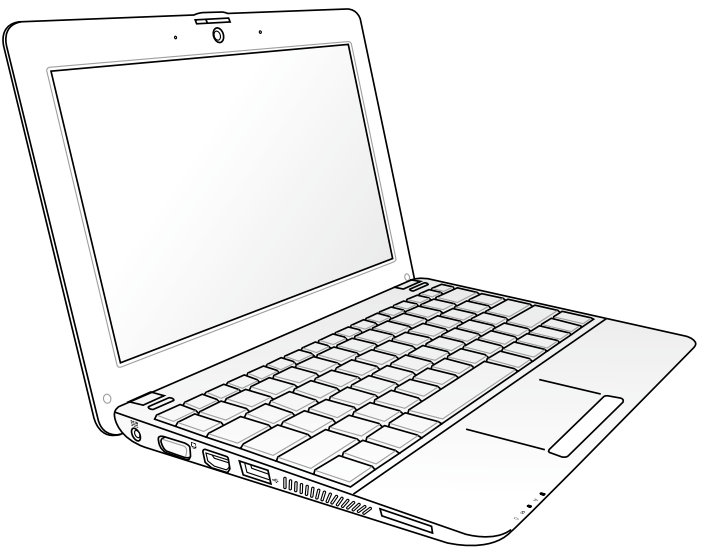
J6639

Eee PC
ユーザーマニュアル

Windows® 7 Edition
Eee PC 1215 Series



もくじ

もくじ ii
本マニュアルについて iv
本マニュアルの表記について iv
安全上の注意 v
運搬時の注意 vi
バッテリーの充電 vii
航空機内での使用について vii

Chapter 1: 各部の名称と説明

上面 1-2
底面 1-6
前面 1-7
右側 1-8
左側 1-9
キーボードを使用する 1-12
ホットキー 1-12
タッチパッドを使用する 1-14
指2本での操作（特定モデルのみ） 1-14

Chapter 2: 使用の手引き

電源をONにする 2-2
初めて起動する 2-3
Windows® を準備する（Windows® 7） 2-3
デスクトップ 2-9
ネットワーク接続 2-10
無線ネットワーク接続を構築する 2-10
WiMAX接続（特定モデルのみ） 2-11
インテル PROSet Wireless（WiMAX）接続をする 2-11
ローカルエリアネットワーク 2-13
Web ページを閲覧する 2-16

Chapter 3: Eee PCを使用する

ASUS Update 3-2
インターネット経由でBIOSを更新する 3-2
BIOSファイルからBIOSを更新する 3-3
Bluetooth 接続（特定モデルのみ） 3-4

Super Hybrid Engine 3-6
Super Hybrid Engine モード 3-6
Eee Docking（特定モデルのみ） 3-7
Access 3-7
Sharing 3-8
Experience 3-8
Tools 3-8
Instant On（特定モデルのみ） 3-9
ASUS Product Register Program（特定モデルのみ） 3-10

Chapter 4: システムリカバリー

システムリカバリー 4-2
リカバリーパーティションを使用する（F9 リカバリー） 4-2

Chapter5: 付録

Declarations and Safety Statements 5-2
Copyright について 5-12
責任制限 5-13
サービスとサポート 5-13

本マニュアルについて

本書は、Eee PCのユーザーマニュアルです。本書ではEee PCの構成部品の説明やその使い方について説明します。本書は以下の章から構成されています。

1. **各部の名称と説明**
   本機の各ユーティリティの使い方です。
2. **使用の手引き**
   本機を最初にお使いになる時に必要な情報です。
3. **Eee PCを使用する**
   本機の各ユーティリティの使い方です。
4. **システムリカバリー**
   システムリカバリーに関する情報です。
5. **付録**
   安全上の注意について記載しています。

お買い求めのEee PCに付属しているOSとアプリケーションは、モデルと地域によって異なります。また、本書記載の画面/写真の内容は参照用で、お買い求めのEee PCのアプリケーションの内容と異なる場合があります。ご了承ください。

本マニュアルの表記について

注意事項等は重要性によって以下のように区別されています。

警告：安全にお使いいただくために、必ず従わなければならない重要な情報です。

重要：本体の破損、データの消失および人体への障害を防止するために必ず行わなければならない事項です。

ヒント：作業の参考になるヒントです。

注：作業を完了するために必要な追加情報です。

安全上の注意

本機を末長くお使いいただくために以下の注意事項を守ってください。本マニュアルに記載されていない事項については、技術者等にご相談ください。損傷のある電源コードや周辺機器を使用しないでください。本体のお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターとバッテリーパックを取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。

禁止：平らでない、不安定な場所に置かないでください。筐体を破損した場合には、弊社コールセンターにご連絡ください。

禁止：上に物を置いたり落としたりしないでください。内部に異物が入らないようにしてください。

禁止：ホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。ガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。

禁止：強い磁気を近づけないでください。

禁止：ディスプレイに触れないでください。また、ディスプレイパネルを傷つけたり、本体内部に入る可能性のある物とは一緒に保管しないでください。

禁止：液体・雨・湿気を避けてください。雷の発生時はモデムを使用しないでください。

禁止：本機の使用中は、底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。

バッテリーの管理：火中に投じないでください。回路をショートさせないでください。分解しないでください。

周囲温度：本機は 5 °～35° の周囲温度でご使用ください。

入力定格：本機の底部に記載があります。電源アダプターが対応していることを確認してください。

禁止：電源がONの状態で本機を持ち運んだり、キャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。

バッテリー：バッテリーは製造元が指定する物をご使用ください。それ以外の物を使用した場合、爆発や本機の故障の原因となります。

禁止：本機は水銀ボタン電池を含む電気機器です。一般ゴミとして廃棄しないでください。本機はリサイクル可能な設計がされています。廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

禁止：本機のバッテリーを通常ゴミとして廃棄しないでください。廃棄の際は地域の条例等に従ってください。

運搬時の注意

本機を持ち運ぶ場合は電源をOFFにし、キーボードやディスプレイを保護するため、**ディスプレイパネルが閉じていることを確認してください。**また周辺機器は全て取り外してください。

本機本体の表面の「ツヤ」は、正しく扱わないと失われてしまいます。持ち運ぶ際は本体表面をこすったりひっかいたりしないように注意してください。本機を汚れ・水・衝撃・傷から保護するために、携帯用ケースの使用をお勧めします（ケースは別売りの場合もあります）。

バッテリーの充電

ACアダプターが本機とコンセントに接続されていれば、バッテリーは自動的に充電されます。本機の電源がONの場合は充電時間は長くなります。なお、長時間バッテリー電源のみを使用する場合は、完全にバッテリーを充電してからご使用ください。

初めてバッテリーを使用する際、またはバッテリーの残量が少なくなった場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください（8時間以上）。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。なお、バッテリーは充電と放電を数回繰り返すことで、最大限に充電できるようになります。

航空機内での使用について

航空機内での本機の使用については、各航空会社にお問い合わせください。多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。一般的に離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。

空港のセキュリティ装置には３つのタイプがあります。X線装置（荷物用）、磁気センサー（セキュリティゲートを通過する人間用）、および磁気ワンド（人間や小物用の短い棒）です。本機やハードディスクをX線装置に通すことは問題ありません。ただし、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

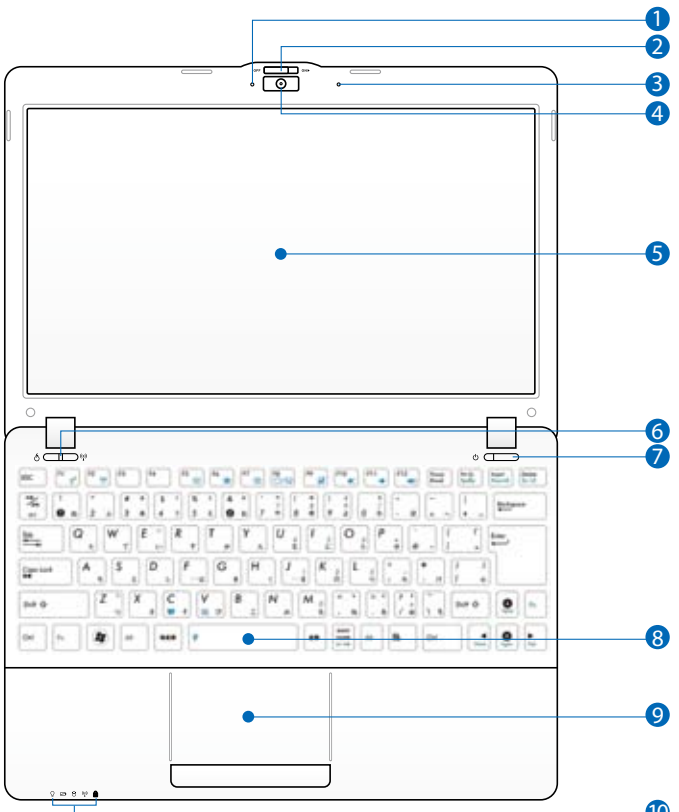
上面
底面
前面
右側
左側
キーボードを使用する
タッチパッドを使用する

1 各部の名称と説明

上面

各コンポーネントの位置はこの図でご確認ください。

上面のレイアウトはモデルによって異なります。



キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

❶ **カメラインジケーター**

❷ **カメラカバースイッチ**

カメラカバースイッチはカメラ保護用のカバーの開閉を行います。このスイッチを左にスライドさせるとカバーが閉じます。このスイッチを右にスライドさせるとカバーが開きます。

❸ **マイク（内蔵型）**

❹ **内蔵型カメラ**

❺ **ディスプレイパネル**

❻ **Express Gate ボタン（特定モデルのみ）**

Eee PCの電源をOFFにした際、このボタンを押すとExpress Gateを起動することができます。Express Gate はASUS独自のOSで、Windows OSを起動せずにインターネットや各アプリケーションに短時間でアクセスできます。

Super Hybrid Power ボタン

Windows OS環境では、このボタンはSuper Hybrid Power ボタンとして動作します。モードの切り替えは、インスタントキー、ホットキーまたは、タスクトレイから行います。
また、<Fn> + <Space Bar>キーを押しても操作可能です。

無線/Bluetooth ボタン（Bluetooth は特定モデルのみ）

無線/Bluetooth ボタンは内蔵無線LANまたはBluetooth のON/OFFを切り替えます。有効にすると対応する無線インジケーターが点灯します。
<Fn> キーと <F2>キーを同時に押すことによって無線LANまたはBluetooth のON/OFFの切り替えをすることもできます。

❼ **電源スイッチ（Windows）**

電源スイッチは、電源のON/OFFや、Suspend-to-RAM（スリープ）モードからの復帰に使用します。一度押すと電源がONになり、電源ONの状態で押し続けると強制的にシャットダウンします。電源スイッチはディスプレイが開いている場合のみ機能します。電源ボタンの動作はコントロールパネルの「電源オプション」でカスタマイズすることができます。

電源インジケーター

電源インジケーター点灯時は本機の電源はON、点滅時は本機は Suspend-to-RAM（スリープ）モードに入っています。このLEDがOFFのときは、本機の電源はOFFの状態です。

8 キーボード

9 タッチパッドとボタン

10 ステータスインジケーター

電源インジケーター

電源インジケーター点灯時は本機の電源はON、点滅時は本機はSuspend-to-RAM（スリープ）モードに入っています。このLEDがOFFのときは、本機の電源はOFFの状態です。

バッテリー充電インジケーター

充電インジケーター（LED）は、次のようにバッテリーの状態を示します。

電源ON

	アダプター使用	アダプター不使用
バッテリー残量（高）（95%–100%）	グリーン：ON	OFF
バッテリー残量（中）（11%–94%）	オレンジ：ON	OFF
バッテリー残量（低）（0%–10%）	オレンジ：点滅	オレンジ：点滅

電源OFF/スリープモード

	アダプター使用	アダプター不使用
バッテリー残量（高）（95%–100%）	グリーン：ON	OFF
バッテリー残量（中）（11%–94%）	オレンジ：ON	OFF
バッテリー残量（低）（0%–10%）	オレンジ：点滅	OFF

ハードディスク(HDD)インジケーター

ディスクドライブでデータの読み書きが行われている場合に点滅します。

無線/Bluetooth インジケーター

無線LAN/Bluetooth(BT)機能内蔵モデルのみです。本機の内蔵無線LAN/BT機能が有効になっているときに点灯します。

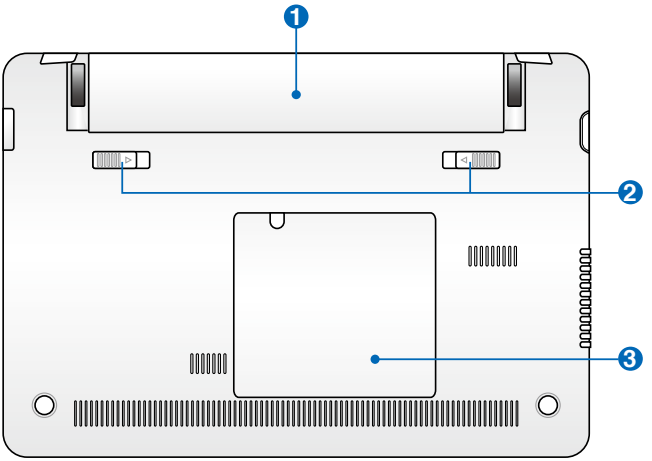
Caps Lock インジケーター

ランプが点灯しているときは、Caps Lock が有効になっています。

底面

各コンポーネントの位置はこの図でご確認ください。

底面のレイアウトはモデルによって異なります。



充電中や操作中は、本機の底面は高温になります。操作中はご注意ください。**通気孔をふさぐ恐れがありますのでソファやベッドのような柔らかい面の上で使用しないでください。また、火傷の原因となりますので本機を膝または身体の他の部分に載せて操作しないでください。**

1 バッテリーパック

バッテリー駆動時間は本機の使用方法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解しないでください。

❷ バッテリーロック

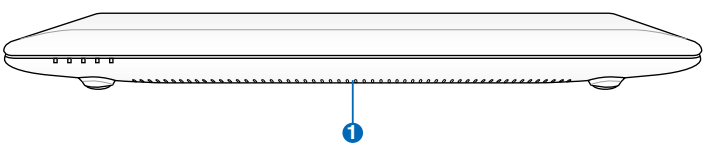
バッテリーパックを固定します。バッテリーパックを入れると自動的にロックし固定します。バッテリーを取り外す際は、このロックを内側にスライドさせます。

❸ メモリーコンパートメント

メモリーがこのコンパートメントに収納されています。

前面

各コンポーネントの位置はこの図でご確認ください。

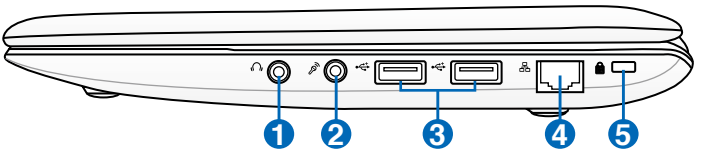


❶ オーディオスピーカーシステム

オーディオ機能はソフトウェア制御です。

右側

各コンポーネントの位置はこの図でご確認ください。



1 ヘッドホン出力ジャック

2 マイクジャック

マイクを接続し、音声ナレーション、簡単な録音に使用することができます。

3 USBポート（3.0、特定モデルでは/2.0/1.1）

USBポートはUSB3.0（ブルー）、USB2.0、USB1.1（ブラック）の互換仕様となっており、キーボード、ポインティングデバイス、カメラ、ストレージデバイスなどが接続できます。

4 LANポート（10/100M bit）

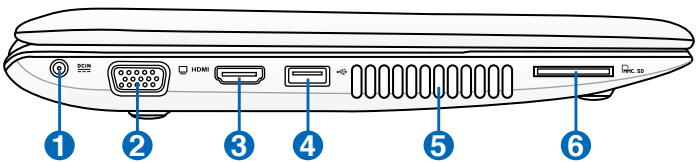
8ピンのRJ-45 LANポートはローカルネットワークに接続するための標準イーサネットケーブルをサポートします。

5 Kensington® ロックポート

Kensington® 互換セキュリティ製品と併用して、本機を固定することができます。これらのセキュリティ製品には通常メタルケーブルとロックが含まれ、固定された物体から本機を取り外せないようにしてあります。

左側

各コンポーネントの位置はこの図でご確認ください。



1 DCIN 電源入力

このジャックに付属のACアダプターを接続します。ACアダプターはAC電源をDC電源に変換し、本機に電力を供給しバッテリーパックを充電します。本機とバッテリーパックの損傷を防ぐため、常に付属のACアダプターを使用するようにしてください。

ACアダプターは使用中に高温になります。上に物をかぶせたりせず、安全のため身体から離してご利用ください。

2 15 ピンD-Subディスプレイ（モニター）出力

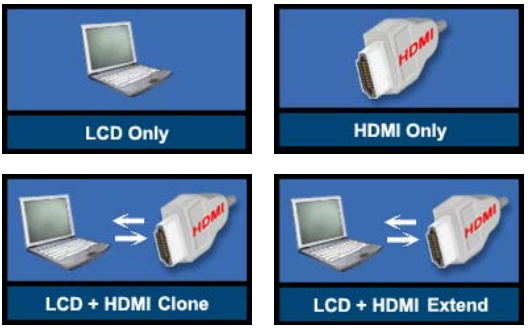
3 HDMI HDMI ポート

HDMIケーブル（オプション）を利用してEee PCをHDMI 出力対応の最新のハイビジョンテレビや高解像度モニターと簡単に接続することができます。大画面の外部モニターを利用すれば臨場感のある映像やサウンドをケーブル 1本と簡単な設定でお楽しみいただけます。

HDMIケーブルを利用しての接続方法は以下の通りです。

1. HDMIケーブルでEee PCとHDMI対応外部モニターを接続します。
2. 外部モニターの入力モードをHDMI入力に設定します。
3. Fn＋F8でお好みの画面出力設定を選択します。

下記の4通りの出力設定が可能です。



HDMI規格はその発展途上に様々なバージョンがあり、本機と組み合わせでお客様お持ちのTVや外部モニターすべてに対して正常動作を保証するものでは有りません。

❹ **USBポート（2.0/1.1）**
USB Charge+（特定モデルのみ）

Eee PCがスリープ状態、または休止状態、電源OFF時に携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーを充電する機能です。USB Charge+ アプリケーションはEee Docking ツールバーから起動できます。必要に応じて詳細設定を行ってください。

❺ **通気孔**

本機内部で暖まった空気を逃がします。

紙や本、衣類、ケーブル等、通気を妨げる恐れのあるもので通気孔を塞がないでください。オーバーヒートの原因となります。

❻ **メモリーカードスロット**

内蔵のメモリーカードリーダーにより、SD/SDHC/SDXC/MMCカードの読み込みが可能です。

キーボードを使用する

ホットキー

コマンドが表記されたキーについて説明します。コマンドは、Functionキー<Fn>を押しながら、コマンドが表記されたキーを押して実行します。なお、特定の機能アイコンは、有効にするとタスクトレイに表示されます。

各ホットキーの位置はモデルによって異なる場合がありますが、機能は同じです。位置が異なる場合は、アイコンの表示を参考にしてください。

Z² アイコン（F1）：システムをスリープモードにします（Suspend-to-RAM）。

ラジオタワーアイコン（F2）：無線モデルのみに搭載です。オンスクリーンディスプレイ機能で内部無線LANのON/OFFを切り替えます。有効にすると対応するインジケーターが点灯します。

小さい太陽アイコン（F5）：ディスプレイの輝度を下げます。

大きい太陽アイコン（F6）：ディスプレイの輝度を上げます。

スクリーンアイコン（F7）：ディスプレイのバックライトをOFFにします。

LCD/ディスプレイアイコン（F8）：液晶ディスプレイと外部ディスプレイを切り替えます。

タッチパッドアイコン（F9）：タッチパッド機能のON/OFFを切り替えます。

ミュートアイコン（F10）：スピーカーの音量をゼロにします。

スピーカー（↓）アイコン（F11）：スピーカーの音量を下げます。

スピーカー（↑）アイコン（F12）：スピーカーの音量を上げます。

Super Hybrid Engine（Space Bar）：各節電モードを切り替えます。選択したモードはディスプレイに表示されます。

Num Lk（Insert）：数値キー（数字ロック）のON/OFFを切り替えます。数字入力時にキーボードの大部分を使用できるようにします。

Scr Lk（Delete）：スクロールロックのON/OFFを切り替えます。セルをナビゲーションする場合に、キーボードの大部分を使用できるようにします。

Pg Up（↑）：ドキュメントやブラウザーを上方向にスクロールします。

Pg Dn（↓）：ドキュメントやブラウザーを下方向にスクロールします。

Home（←）：行頭にカーソルを移動します。

End（→）：行末にカーソルを移動します。

V：カメラアプリケーションをONにします。

C：スクリーンセーバーをONにします。

Windows アイコン：「スタート」メニューを表示します。

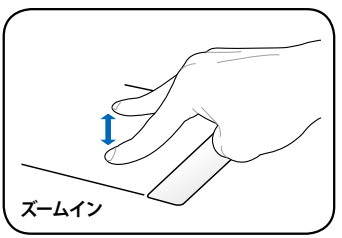
メニュー＆カーソルアイコン：右クリックに相当し、押すとプロパティメニューが開きます。

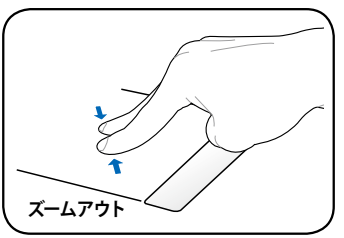
タッチパッドを使用する

指2本での操作（特定モデルのみ）

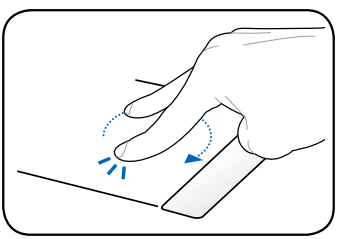
指での操作	アプリケーション
指２本でのズームイン/ズームアウト：	Adobe Reader、Windows Photo Viewer
指２本での回転	Adobe Reader、Windows Photo Viewer
指２本でのスクロール（上下左右）	Adobe Reader、MS Word、MS Excel
指３本でのページ切り替え（上下）	Adobe Reader、MS Word、MS Excel

ズームイン/ズームアウト：２本の指先の距離を広げる、または狭めることでズームイン/ズームアウトが可能です。画像やドキュメントの閲覧にご活用ください。

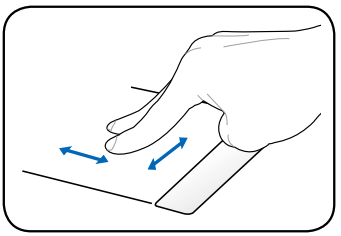




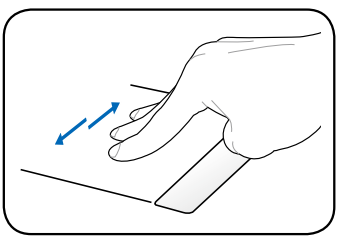
指２本での回転：１本の指先をタッチパッド上で固定し、もう1本の指で弧を描くと閲覧中の画像またはドキュメントが回転します。回転方向は、時計回りと反時計回りの両方向が可能です。



指2本でのスクロール（上下左右）：
2本の指先をタッチパッド上で左右上下にスライドし、ウィンドウを上下左右にスクロールします。ディスプレイウィンドウに複数のサブウィンドウが含まれる場合は、スクロールする前にカーソルを使用するウィンドウ枠に移動します。



指3本でのページ切り替え（上下）：
3本の指をタッチパッド上で水平に移動し、ページを切り替えます。左から右に移動すれば次のページに、右から左に移動すれば前のページに切り替わります。



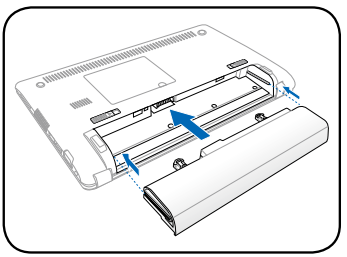
電源をONにする
初めて起動する
デスクトップ
ネットワーク接続

2 使用の手引き

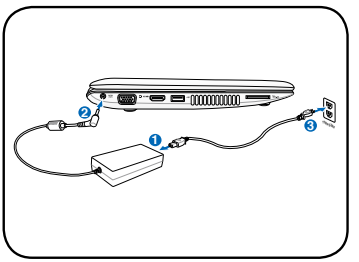
電源をONにする

本項は本機の使用方法を簡潔に記載したものです。

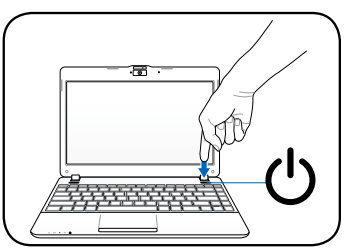
1. バッテリーパックをセットします。



2. ACアダプターを接続します。



3. 本機の電源を入れます。



指定外のアダプターを本機に接続しないでください。また、故障したACアダプターの使用はバッテリーパックと本機の故障の原因となります。

- ディスプレイを無理に開かないでください。ディスプレイを持って、本体を持ち上げないでください。ヒンジを破損する原因となります。
- アダプターとバッテリーパックは、本機に添付のもの、または製造元及び販売店が指定するものをご使用ください。指定外の物を使用された場合は、本機の故障の原因となります。
  アダプターへの入力電圧はAC100V～240Vで、アダプターの出力は+19Vdc、2.1Aです。
- 本機の電源がONの状態のときは、絶対にバッテリーパックを取り外さないください。大切なデータが失われる場合があります。

初めてバッテリーを使用する際、またはバッテリーの残量が少なくなった場合は、バッテリーを完全に充電してからご使用ください。バッテリーの寿命を延ばすことに繋がります。

初めて起動する

本機を初めて起動するときは、Windows のセットアップ用のウィザードが自動的に起動します。ウィザードの指示に従って、セットアップを実行してください。

実際のWindows OSバージョンは、モデルにより異なります。

Windows® を準備する（Windows® 7）

電源を初めて入れたら、Windows の準備をします。Windows の準備が完了するとソフトウェアや様々な機能を使用できるようになります。

- Windows のセットアップ中は絶対に電源を切らないでください。
- Windows のセットアップ時にはバッテリー、アダプター以外の周辺機器（LANケーブル、USB機器、メモリーカード等）を接続しないでください。
- Windowsのセットアップ中に電源を切ると、Windowsが動作しなくなる場合があります。設定中には画面が数分間変わらないことがありますが、Windows のセットアップは進行しています。本セットアップ手順をすべて終え、セットアップが完了するまでは電源を切らずにお待ちください。

1． 電源を入れる

本機の電源ボタンを押し、「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。

2. セットアップの開始

[国または地域（C）] 日本
[時刻と通貨の形式（T）] 日本語（日本）
[キーボードレイアウト（K）] Microsoft IME

各設定が上記の内容と一致していることを確認し、「**次へ（N）**」をクリックします。

これらの設定はデフォルトで表示されている内容から変更しないでください。設定を変更した場合、Windows が正常に動作しなくなる可能性があります。

ご使用いただいている機種により、OSの名称が異なる場合がございます。

3. ユーザー名とコンピューター名の設定

お使いになる方のユーザー名を入力します。ユーザー名を入力するとコンピューター名は自動で「<ユーザー名>-PC」が入力されます。入力が完了したら「**次へ(N)**」をクリックします。

ユーザー名やコンピューター名に日本語の「漢字」、「ひらがな」、「カタカナ(全角/半角)」「全角英数字」を使用して設定すると、予期せぬトラブルの原因になる可能性がございます。ユーザー名、コンピューター名は「半角英数字」を使用して設定することを推奨いたします。

ユーザー名やコンピューター名はWindows のセットアップ完了後に変更することが可能です。

4. パスワードの設定

ユーザーアカウントのパスワードを設定します。パスワードは必ず「半角英数字」を使用して設定します。パスワードを入力したら「**次へ(N)**」をクリックします。

パスワードを設定しない場合は、なにも入力せずそのまま「**次へ(N)**」をクリックします。

パスワードを忘れてしまった場合、Windows を開始することができません。大切なデータなども取り出すことができなくなりますので、設定したパスワードは必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。

パスワードはWindows のセットアップ完了後に変更することが可能です。

5. ライセンス条項の確認

Windows を使用するには「マイクロソフトソフトウェアライセンス条項」と「マイクロソフトの使用条件」2 つのライセンス条項に同意する必要があります。このライセンス条項をご確認頂き、2 箇所の「**ライセンス条項に同意します**」にチェックをしたら、「**次へ(N)**」をクリックします。

どちらか一方でも条項に同意いただけない場合は、Windows のセットアップを続けることができず、Windows と本機に付属するソフトウェアをお使いになれません。

6. コンピューターの保護設定

コンピューターの保護とWindows の機能の向上が自動的に行われるかを設定します。

- 推奨設定を使用します（R）
- 重要な更新プログラムのみインストールします（I）
- 後で確認します（A）

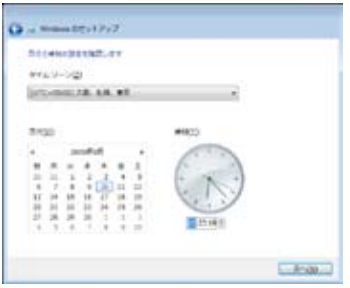
３つの選択肢から「**推奨設定を使用します**」をクリックします。

ASUSはコンピューターを安全、快適にご利用いただくために「推奨設定を使用します（R）」を設定することを推奨いたします。

設定はWindows のセットアップ完了後に変更することが可能です。

7. 日付と時刻の設定

タイムゾーン、日付と時刻を設定します。タイムゾーンおよび日付と時刻を確認し「**次へ（N）**」をクリックします。

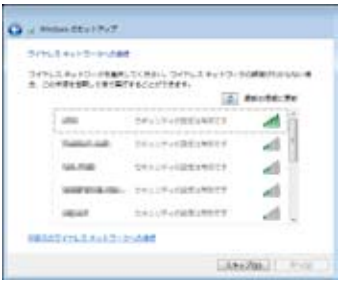


本製品は工場出荷時の時間設定が日本標準時と異なる場合がございます。設定の際は必ず日付と時刻をご確認ください。

設定はWindows のセットアップ完了後に変更することが可能です。

8. ワイヤレス ネットワークへの接続

ワイヤレスネットワークへの接続設定をします。接続したいアクセスポイントをクリックします。



ワイヤレスネットワークへ接続しない場合は「**スキップ (K)**」をクリックします。

→11. セットアップ完了へ

ワイヤレスネットワークのネットワーク名 (SSID) やセキュリティ キーがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ワイヤレス ネットワークはWindows のセットアップ完了後にも設定することが可能です。

9. セキュリティ キーの入力

接続設定をするワイヤレスネットワークにセキュリティキーが設定されている場合、セキュリティー キーを入力し「**次へ (N)**」をクリックします。

ワイヤレスネットワークのネットワーク名 (SSID) やセキュリティ キーが分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

10. コンピューターの使用場所

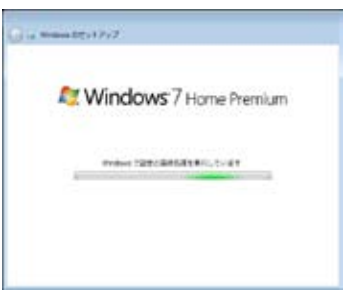
ワイヤレスネットワークに接続されたコンピューターの現在の場所を選択します。

この画面は、ネットワークに接続されている場合のみ表示されます。

コンピューターを使用する場所の設定はWindows のセットアップ完了後に変更が可能です。

11. セットアップ完了

Windows の準備は完了です。Windows の設定最終処理が終わり、デスクトップの準備が完了すると、Windows が使用可能になります。



最終処理とデスクトップの準備には時間が掛かりますので、キーボードやタッチパッドを操作せずしばらくお待ちください。

セットアップが完了すると、下記の表示が出てシステムが再起動されます。(特定モデルのみ)

デスクトップ

デスクトップ上にはいくつかのショートカットが表示されます。アプリケーションを起動するには、ショートカットをダブルクリックします。最小化されたアイコンが、タスクトレイに表示されるアプリケーションもあります。

デスクトップ画面はモデルにより異なります。

ネットワーク接続

無線ネットワーク接続を構築する

1. タスクトレイにあるオレンジの無線ネットワークアイコン をクリックします。

タスクトレイに アイコンが表示されず、 アイコンが表示されている場合は、無線ネットワーク接続の構築の前に + (<Fn> + <F2>) を押し無線LAN機能を有効にします。

2. リストから接続する無線アクセスポイントを選択し「**接続**」をクリックします。

アクセスポイントが表示されない場合は、アイコン をクリックし、再検索してください。

3. 接続の過程で、セキュリティキーの入力が必要な場合があります。
4. 接続が確立すると、その接続名がリストに表示されます。
5. タスクトレイに無線ネットワークアイコン が表示されます。

<Fn> + <F2>を押すとWLAN機能が無効になり、無線ネットワークアイコン が表示されます。

WiMAX接続（特定モデルのみ）

WiMAXとは、「Worldwide Interoperability for Microwave Access」の略で、提供エリア内なら高速データ通信を行うことができるサービスです。また、街角などの特定スポットだけでなく、広いエリアで移動中などにも通信が可能なため、色々な場所でインターネットをお楽しみいただくことができます。

WiMAXのご利用にはWiMAX提供会社との利用契約が必要です。契約内容、利用料金などに関しては各提供会社へお問い合わせください。提供会社に関しましては以下のURLでご確認いただくことができます。
http://www.uqwimax.jp/service/wimax/mvno.html

URLは予告なく変更される場合があります。その場合はUQコミュニケーションズへお問い合わせください。

インテル PROSet Wireless（WiMAX）接続をする

1. 「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→「**インテル PROSet Wireless**」→「**WiMAX接続ユーティリティー**」の順にクリックします。

1b.または、タスクトレイに表示されている「**UQ WiMAX接続**」アイコンを右クリックし、表示されるウィンドウ内の「**WiMAXの設定**」をクリックします。

2. 「**インテル®PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティ**」ウィンドウ内で、「**WiMAX**」をONにすると、接続ボタンが表示されますので、そちらをクリックします。

WiMAXネットワークが表示されない場合は、「**ネットワークの検索**」をクリックします。パソコンの設置や向きを変えて検索を実施しても表示されない場合は、サービスエリア外の可能性があります。サービスエリアの詳細は以下URLでご確認いただくことができます。
http://www.uqwimax.jp/service/area/

URLは予告なく変更される場合があります。その場合はUQコミュニケーションズへお問い合わせください。

3. 接続が開始されると、「**UQ WiMAX に接続しています。**」というメッセージが表示されます。必要に応じて「**今後、このメッセージを表示しない**」にチェックを入れてください。

4. 「**インテル®PROSet/Wireless WiMAX接続ユーティリティ**」ウィンドウ内で、「**WiMAX**」をONにすると、接続ボタンが表示されますので、そちらをクリックします。

5. オンライン契約完了後はインターネット接続をお楽しみいただくことができます。再度接続するためには、上記手順の1から2を実施ください。

無線LAN接続とWiMAX接続を同時に行うことはできません。

ローカルエリアネットワーク

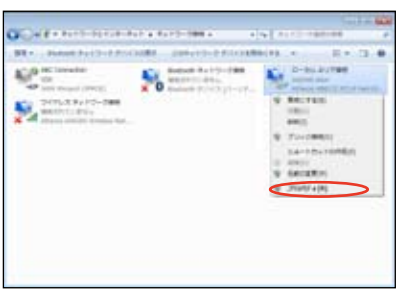
有線ネットワークを設定する

動的 IPを使用する

1. Windows7の初期設定では、LANケーブルを繋ぐだけで特に何も設定を変更せずに動的IPでネットワークに接続できる状態です。
念のためこの設定を確認する場合は、タスクトレイにあるネットワークアイコンをクリックし、「**ネットワークと共有センターを開く**」を選択します。

2. 「**アダプターの設定の変更**」をクリックします。

3. 「**ローカルエリア接続**」で右クリックし、「**プロパティ**」を選択します。



4. 「**インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)**」をクリックし、「**プロパティ**」をクリックします。

5. 「**IPアドレスを自動的に取得する**」をクリックし、「**OK**」をクリックします。

コンピューター上にIDやパスワードの設定が必要なプロバイダ様の場合(PPPoE接続)

1. 「**ネットワークと共有センターを開く**」から「**新しい接続またはネットワークのセットアップ**」をクリックします。

2. 「**インターネットに接続します**」を選択し、「**次へ (N)**」をクリックします。

3. 「**ブロードバンド (PPoE)**」を選択します。

4. アカウントユーザー名とパスワード、接続名を入力し、「**接続**」をクリックします。

5. 「**閉じる**」をクリックし、設定を終了します。

6. タスクトレイのネットワークアイコンをクリックし、「**接続**」をクリックします。

7. ユーザー名とパスワードを入力します。「**接続**」をクリックしインターネットに接続します。

詳しくは各社プロバイダ様へお問い合わせください。

静的 IPを使用する

1. 静的 IP を使用する場合も、「動的 IP を使用する」の手順 1~4 まで同様の設定を行います。
2 「**次の IP アドレスを使う**」を選択します。
3. プロバイダ提供の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
4. 必要な場合、優先DNSサーバーアドレスと代替DNSサーバーアドレスを入力します。
5. 関連する項目を入力したら、「**OK**」をクリックし、ネットワーク接続を確立します。

ネットワーク接続に問題がある場合は、ご契約のプロバイダ様にご相談ください。

Web ページを閲覧する

ネットワークのセットアップが終わったら、**Internet Explorer** を起動します。

ユーザー登録は **http://vip.asus.com** で行うことができます。また、Eee PC ホームページ（**http://Eee PC.asus.com**）で最新情報を公開しております。是非ご利用ください。

ASUS Update
Bluetooth 接続（特定モデルのみ）
Super Hybrid Engine
Eee Docking
Instant On（特定モデルのみ）
ASUS Product Register Program（特定モデルのみ）

3 Eee PCを使用する

ASUS Update

ASUS Update はEee PCのBIOSをWindows® 環境で管理/保存/更新できるツールです。機能は以下のとおりです。

- 使用中のBIOSファイルの保存
- 最新のBIOSファイルのダウンロード
- 更新したBIOSファイルからのBIOS更新
- インターネット経由でBIOSの直接更新
- 現在のBIOSバージョン情報の閲覧

本ユーティリティはEee PCにプリインストールされています。

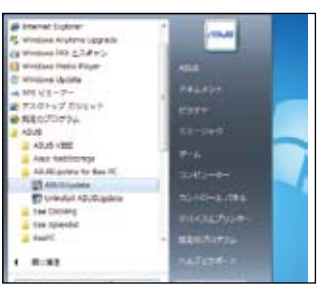
ASUS Update の利用には、ネットワーク経由またはプロバイダ経由でのインターネット接続が必要です。

このプログラムを実行するには管理者権限アカウントでWindowsにログインする必要があります。

インターネット経由でBIOSを更新する

手順

1. デスクトップから、「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→「**ASUS**」→「**ASUSUpdate for Eee PC**」→「**ASUSUpdate**」の順にクリックし、ASUS Update を起動します。起動すると、メイン画面が表示されます。



2. リストから「**インターネットからBIOSをアップデート**」を選択し、「**進む**」をクリックします。

3. 最寄りのASUS FTPサイトを選択するか、「**自動選択**」を選択し、「**進む**」をクリックします。

4. FTPサイトからBIOSバージョンを選び「**進む**」をクリックします。

5. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。

BIOS更新時のトラブルによる不具合は全てメーカー保証外となり、有償対応となります。更新作業はお客様自己責任の上で行ってください。

ASUS Update はインターネット経由でバージョン更新が可能です。

BIOSファイルからBIOSを更新する

手順

1. デスクトップから、「**スタート**」→「**すべてのプログラム**」→「**ASUS**」→「**ASUSUpdate for Eee PC**」→「**ASUSUpdate**」の順にクリックし、ASUS Update を起動します。起動すると、メイン画面が表示されます。

2. リストから「**ファイルからBIOSをアップデート**」を選択し、「**進む**」をクリックします。

3. OpenダイアログからBIOSファイルを探し、「**開く**」をクリックします。

4. 画面の指示に従い、更新プロセスを完了します。

BIOS更新時のトラブルによる不具合は全てメーカー保証外となり、有償対応となります。更新作業はお客様自己責任の上で行ってください。

Bluetooth 接続（特定モデルのみ）

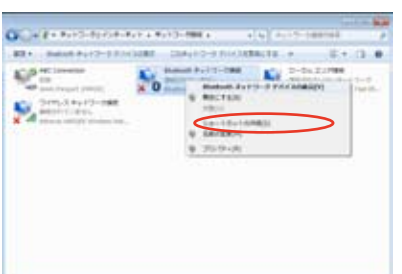
Bluetooth 技術により、Bluetooth を有効にしたデバイスを接続する際、ケーブルが不要になります。Bluetooth 接続が可能なデバイスは、ノートブック PC、デスクトップPC、携帯電話、PDA等があります。

Bluetooth を有効にしたデバイスに接続する

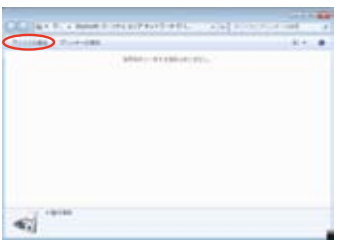
1. 「**Bluetooth ON**」または「**WLAN & Bluetooth ON**」が表示されるまで <Fn> + <F2> を押します。

2. 「**コントロールパネル**」から「**ネットワークとインターネット**」→「**ネットワークと共有センターを開く**」→「**アダプターの設定の変更**」の順にクリックします。

3. 「**Bluetooth ネットワーク接続**」を右クリックし、「**Bluetooth ネットワークデバイスの表示**」を選択します。



4. 「**デバイスの追加**」をクリックし、新しいデバイスを探します。



5. リストからBluetooth が有効になっているデバイスを選択し、「**次へ (N)**」をクリックします。

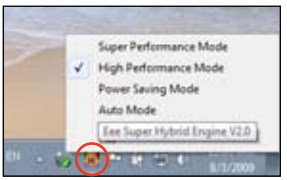
6. Bluetooth セキュリティコードを入力し、ペアリングを開始します。

7. ペアリングが完了しました。「**閉じる**」をクリックし、設定を終了します。

Super Hybrid Engine

Super Hybrid Engine により、異なる電源モードが使用できます。モードの切替方法は下記の3通りがあります。省電力モード (Power Saving) は本機のパフォーマンスを制御し、バッテリー駆動時間を最大限に引き伸ばします。選択したモードはディスプレイに表示されます。

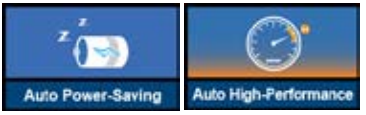
電源モードを変更する



- タスクトレイでSuper Hybrid Engine アイコンを右クリックし、使用する電源モードを選択します。
- <Fn> +<Spacebar>を繰り返し押し、電源モードを切り替えます。
- Super Hybrid Power ボタンでもモード切り替えが可能です。ボタンの位置はページ1 - 3でご確認ください。

Super Hybrid Engine モード

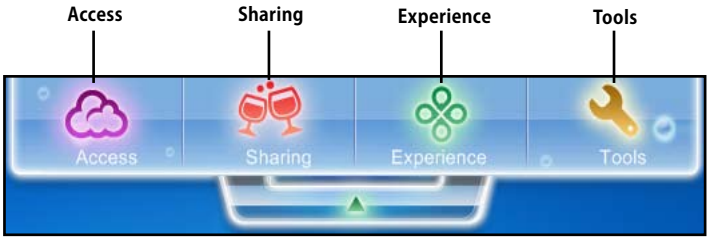
Auto High-Performance モードはACアダプター使用時のみ、**Auto Power-Saving** モードはACアダプターを使用していないときだけ利用できるモードです。



外付けディスプレイが、Power Saving モード利用時に1024×768 ピクセル以上の解像度で正しく動作しない場合は、<Fn> + <F8> を押してディスプレイモードをLCD Only または LCD + CRT Clone に切り替え、電源モードをHigh Performance またはSuper Performance に設定し直してください。

Eee Docking（特定モデルのみ）

Eee Docking には便利な機能が満載です。Eee Docking ツールバーはデスクトップの上側に表示されます。



- Eee Docking のアプリケーションの内容はモデルにより異なります。
- Eee Docking のアプリケーションの内容は、予告なく変更される場合があります。

Access

ASUS @Vibe

Eee @Vibe は、オンラインで次のエンターテイメントコンテンツを提供します：ラジオ、書籍、ゲーム等

書籍の閲覧について（特定モデルのみ）

書籍の閲覧は、目的の書籍を選択してから「**再生**」ボタンを押し、「**立ち読み版ダウンロード**」の画面では「**ダウンロード**」ボタンを押します。ASUS @Vibe上で書籍の閲覧が可能な「**開く**」を選択するのがお勧めです。

サービス向上に伴い、操作方法が変更となる場合があります。また、ASUS @Vibe サービスの内容は地域によって異なります。

ゲームパーク

ゲームパークは、多彩なゲームを提供します。

ASUS WebStorage

Eee PCユーザーにオンラインスペースを提供する機能で、お試し期間中は無料でご利用いただけます。インターネットに接続していれば、いつでもどこでもファイルへのアクセスと共有が可能です。ヘルプファイルの閲覧には、インターネット接続が必要です。

Sharing

E-CAM

Webcam用ソフトで、単独あるいはメッセージソフトウェア（Windows Live Messenger、Skype 等）と一緒に使用することで、Webcamに便利な機能と各種効果を追加します。

Syncables（特定モデルのみ）

Syncables デスクトップアプリケーションは、複数のコンピューターの写真や音楽、ビデオ、ドキュメント、ブックマーク等を簡単に同期/更新できるツールです。

Experience

フォントリサイザー

Eee PCのディスプレイのフォント/テキストのサイズを調節します。

Tools

Live Update

オンラインアップデートをチェックすることで、Eee PCを最新の状態に更新します。

USB Charge+ (特定モデルのみ)

Eee PCがスリープ状態、または休止状態、電源OFF時に携帯電話やデジタルオーディオプレーヤーを充電する機能です。この機能は初期設定では無効に設定されています。有効にすると、次の2つのモードから設定を選択できます：アダプターモード、アダプター+ バッテリーモード

USB Charge+ は本機の電源がONの状態では無効になり、USB ポートはデータ転送専用となります。

ドッキング設定

Eee Docking ツールバーの詳細設定を行います。

Instant On (特定モデルのみ)

待ち時間ゼロ! Instant On機能を有効にすると、高速レジューム機能が有効になります。スタートメニューのシャトダウンボタンはスリープボタンに変更されます。

Windows Update 実行中、Instant Onは自動的に無効になり、更新作業が完了するまでスタートメニューのシャットダウンボタンはスリープボタンに切り替えられません。

ASUS Product Register Program（特定モデルのみ）

インターネット接続が可能になった時点で以下のウィンドウが自動で起動し、ASUS製品のユーザー登録を促します。ASUS製品のユーザー登録はWeb上からも実施可能ですが、このプログラムを利用すると少ないプロセスで目的のページに到達できます。

「**今登録する**」を選んだ状態で「**確定**」を押すと、以下のウィンドウが開きます。初めに「**メンバー登録**」を行った後、引き続き「**製品登録**」を実施してください。

4 システムリカバリー

システムリカバリー

システムリカバリーを実行すると、全てのデータが消去されます。実行する前に重要なデータを必ずバックアップしてください。

F9 Recovery を実行する場合、USBストレージデバイスの取り付けは、本機のUSB2.0ポートのみをご利用ください。

F9 Recovery を実行する前に、必ずACアダプターで本機を電源に接続してください。リカバリー中に電源が遮断されると、リカバリーに失敗し、システムが起動しなくなる場合があります。

リカバリーパーティションを使用する(F9リカバリー)

リカバリーパーティションとは

リカバリーパーティションは、記憶装置上に保存されたある一定の領域で、工場出荷時にインストールされたOS、ドライバー、ユーティリティが保存されており、それらを復旧する際に使用します。

リカバリーパーティションを使用する:

1. 起動プロセス中に <F9> を押します。

システムの電源をONにした後、ASUSロゴが表示されている間に <F9>を一度だけ押します。
<F9>を2度以上押したり、タイミングが合わなかった場合は「Windowsブートマネージャー」の画面が表示されます。その場合は、「Windows Setup [EMS Enabled]」の項目が選択されていることを確認の上、<Enter>キーを押して先へ進みます。
<ESC>を押すとリカバリーせずにPCが再起動し、POST 画面に戻ります。

2. 使用する言語を選択し、「➡」をクリックします。

3. **Recovery System** ダイアログの「**リカバリー**」をクリックし、リカバリーを開始します。

4. リカバリー作業が自動的に始まります。その後は、画面の指示に従ってリカバリーを実行してください。

リカバリーファイルをバックアップする

1. 前のセクションの手順 1—2 を実行します。
2. USBストレージデバイスをEee PCに接続し、**Recovery System** ダイアログの「**バックアップ**」を選択し、リカバリーファイルのバックアップを実行します。

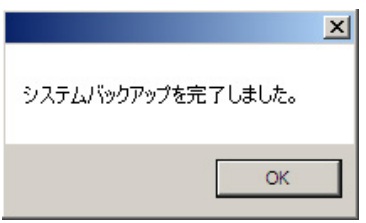
- バックアップに使用するUSBストレージデバイスの容量は16GB以上必要です。
- Eee PC搭載のカードリーダー経由でバックアップにご利用いただけるメモリーカードも一部ございますが、USBストレージデバイス（USBフラッシュメモリーまたはUSBハードディスク）のご利用がお勧めです。ただし、USBストレージデバイスであっても、Eee PC起動時の<ESC>での選択メニューに出現しないデバイスへのバックアップは絶対にお止めください。<ESC>メニューに出現しないデバイスはブートデバイスに利用不能で、たとえバックアップが可能でも、バックアップ後のリカバリー作業が実施できません。
- USBストレージデバイスをEee PCに接続していない場合、右のようなダイアログが表示されます。

3. 複数のUSBストレージデバイスがEee PCに接続されている場合は、いずれかを選択し、「**続行する**」をクリックします。

4. 選択したUSBストレージデバイス内のデータは削除されます。問題なければ「**続行する**」をクリックし、バックアップを開始します。戻る場合は「**戻る**」をクリックします。

選択したUSBストレージデバイス内のデータは全て消去されます。作業実行の前に、重要なデータのバックアップを行ってください。

5. システムバックアップを開始します。完了したら「**OK**」をクリックします。

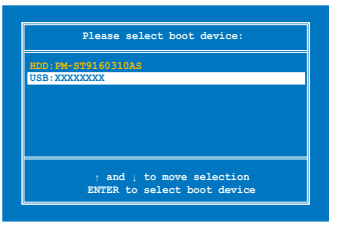


- 外付けUSBハードディスクドライブを使用する場合、ドライブに2つのパーティションが作成されます。
  1つ目のパーティションはシステムリカバリー専用領域です。このパーティションの内容は一切変更を加えないでください。
  もう一方はデータ保存用のパーティションです。こちらはお客様が自由にご利用いただける空領域となります。
- USBフラッシュメモリーを使用する場合、16GBのフラッシュメモリーをお勧めします。また、データの消失を防ぐため、可能である場合はライトプロテクト機能を有効にし、システムリカバリー専用としてご使用ください。

USBストレージデバイスを使用する（USBリカバリー）

1. システムリカバリーファイルのバックアップを行ったUSBストレージデバイスをEee PCに接続します。

2. 起動後、ASUSロゴが表示さている間に、**<ESC>** を押すと、「**Please select boot device**」画面が表示されます。「**USB:XXXXXX**」を選択し、接続したUSBストレージデバイスから起動します。



3. 使用する言語を選選択し、「➡」をクリックします。

4. 「**リカバリー**」をクリックしシステムリカバリーを開始します。

5. パーティションのオプションを次のいずれから選択し、「続行する」をクリックします。

   - **システムをパーティションにリカバリ**

     システムパーティション「C」のデータを全て消去し、パーティション「D」を残します。

   - **システムをHDにリカバリ**

     ハードディスクから全てのパーティションを削除し、新しいシステムパーティション「C」とデータパーティション「D」を作成します。

6. 画面の指示に従って、リカバリーを実行します。

Declarations and Safety Statements
Copyright について
責任制限
サービスとサポート

5
付録

Declarations and Safety Statements

Federal Communications Commission Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user' s authority to operate this equipment. "The manufacture declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

ENERGY STAR complied product

ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. Please visit http://www.energy.gov/powermanagement for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit http://www.energystar.gov for detail information on the ENERGY STAR joint program.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

CE Marking

CE

CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC "Electromagnetic compatibility" and 2006/95/EC "Low voltage directive".

CE !

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

To prevent radio interference to the licensed service (i.e. co-channel Mobile Satellite systems) this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.

This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Country Code selection feature to be disabled for products marketed to the US/CANADA.

This Class [B] digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: On private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain	02 Aisne	03 Allier
05 Hautes Alpes	08 Ardennes	09 Ariège
11 Aude	12 Aveyron	16 Charente
24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire
41 Loir et Cher	45 Loiret	50 Manche
55 Meuse	58 Nièvre	59 Nord
60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales	

67 Bas Rhin	68 Haut Rhin	70 Haute Saône
71 Saône et Loire	75 Paris	82 Tarn et Garonne
84 Vaucluse	88 Vosges	89 Yonne
90 Territoire de Belfort	94 Val de Marne	

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.art-telecom.fr)

Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the Eee PC modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the Eee PC near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the Eee PC during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the Eee PC in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (nonrechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- Do not dispose the Eee PC battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- Do not use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm^2 or H05VV-F, 2G, 0.75mm^2.

REACH Notice

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at http://green.asus.com/english/REACH.htm.

Global Environmental Regulation Compliance and Declaration

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to http://csr.asus.com/english/Compliance.htm for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with:

- Japan JIS-C-0950 Material Declarations
- EU REACH SVHC
- Korea RoHS
- Swiss Energy Laws

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピュータ、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950：2008（J-Moss）の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Mossとは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト（http://green.asus.com/english/）に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）」をご参照ください。

Nordic Lithium Cautions（リチウムバッテリーについて）

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSELI! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

VARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

VAROITUS! Paristo voi räjähtää, jos se on virheellisesti asennettu. Vaihda paristo ainoastaan laitevalmistajan sousittelemaan tyyppiin. Hävitä käytetty paristo valmistagan ohjeiden mukaisesti. (Finnish)

ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du mêre type ou d' un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意：バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。(Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумулятор иного типа возможно его возгорание. Утилизируйте аккумулятор в соответствии с инструкциями производителя. (Russian)

Copyright について

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

Copyright © 2011 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。下のリンクで「Language」から「Japanese」を選択してください。
http://support.asus.com

Manufacturer	ASUSTek COMPUTER INC.
Address, City	No. 150, LI-TE RD., PEITOU, TAIPEI 112, TAIWAN R.O.C
Country	TAIWAN
Authorized Representative in Europe	ASUS COMPUTER GmbH
Address, City	HARKORT STR. 21-23, 40880 RATINGEN
Country	GERMANY